

XMLコンソーシアム コミュニティ

活動・会計報告

2010年3月26日～2010年9月1日

2010年9月3日(金)

XMLコンソーシアム コミュニティ

1. 活動概要

- ・ 本会は、XML コンソーシアムの活動成果物および残余資産を継承・管理し、2010年3月26日より2010年9月30日までの期間限定で、旧 XML コンソーシアム会員に対し、XML コンソーシアムの成果物(各種の発表資料を含む)を公開すること、ならびに XML コンソーシアム時代の人的ネットワークを保持することを目的に設立された。
- ・ 2010年6月14日付け「「先端 IT 活用推進コンソーシアム」のご案内」の通り、「先端 IT 活用推進コンソーシアム」を XML コンソーシアムコミュニティの後継団体と位置付けたことに伴い、以降は、XML コンソーシアム後継団体準備委員会と協力し、同コンソーシアムの設立準備に従事した。

参考: 関連する会員規約

(活動年度)

第31条 本会の活動年度は、2010年3月26日に始まり2010年9月30日に終わる。

(活動の終了)

第33条 管理グループは、第31条に示した期間終了の1ヶ月前までに、後継団体に関する計画および本会活動終了に伴う処理事項について、会員宛に通知する。

2. 活動実績

【管理グループ会議】 計8回

4月7日、5月12日、6月2日、7月7日、8月4日、8月18日、9月1日、9月8日

- ・実施細則の作成・発効
- ・後継活動の検討
- ・先端 IT 活用シンポジウム開催への協力
- ・先端 IT 活用推進コンソーシアム設立総会への協力

【アドバイザー・ボードの助言活動】 SNS ベース

- ・XML ガイドブック更新版のレビュー
- ・先端 IT 活用推進コンソーシアムに関する助言

【主要活動】

① XML ガイドブックの作成、公開

2010年4月1日 「XML ガイドブック第2部」を会員限定で公開開始 (注: 第1部は3月26日)

2010年6月9日 「XML ガイドブック」第1部、第2部の第2版を会員限定で公開

2010年7月29日 「XML ガイドブック第2部 第2版」DITA データ(XML形式)対応版を会員限定で公開

② 先端 IT 活用シンポジウムの開催 (XML コンソーシアム後継団体準備委員会への協力)

2010年6月16日 「第一回先端 IT 活用シンポジウム～Android/iPhone/Twitter 編」出席者:72名

「Android～Today & Tomorrow～(仮題)」丸山 不二夫 様

日本 Android の会 会長

早稲田大学大学院 情報生産システム研究科客員教授

「広がる、iPhone のビジネス利用」

中山 五輪男 様

ソフトバンクモバイル株式会社

iPhone 事業推進室シニアエバンジェリスト

「企業における Twitter の活用の実際」

平野 洋一郎 様

インフォテリア株式会社 代表取締役/CEO

参加者と講演者との懇談・意見交換会

2010年7月26日 「第二回先端 IT 活用シンポジウム～クラウド・テクノロジー編」出席者:84名

「クラウド・テクノロジーの動向」

米持 幸寿 様

日本アイ・ビー・エム株式会社 ソフトウェア事業

クラウド・エバンジェリスト

「Hadoop の概要と利用動向」

玉川 竜司 様

Tom White 著「Hadoop」(O'reilly 社刊) 翻訳者

「クラウド基盤技術の活用事例」

森 正弥 様

楽天株式会社 執行役員 兼 楽天技術研究所 所長

参加者と講演者との懇談・意見交換会

③ 他団体との交流/協力

2010年5月26日、6月25日 セマンティック Web 委員会に対する「気象庁防災情報 XML を使った実証実験のご紹介」

説明者: 実証実験に参加した次世代 Web 活用部会メンバー有志(小林、湯本、西)+荒本、芦田、田原の計6名

2010年6月29日 製造業 XML 推進協議会主催「IAF・オープンセミナー」における「先端 IT 活用推進コンソーシアムのご紹介」

講演者: 田原

2010年8月6日 実践的ソフトウェア教育コンソーシアム主催「要求分析を重視した設計手法と分析・設計方法論」説明会の告知協力

2010年8月12日 DITA コンソーシアムジャパン会員に対し「XML ガイドブック第2部 第2版」DITA データ(XML形式)対応版を公開

3. 収支決算報告 (2010年9月2日現在)

(収支決算)

第29条 本会の収支決算及び財産目録は、管理グループが活動年度終了後遅滞なくこれを作成し、監事の監査を経て、代表の決裁を得て会員に通知する。

収支計算書

2010年3月26日から2010年9月1日まで

(単位:円)

	予算	実績	差額	備考
1. 収入の部				
年会費	0	0	0	XMLコンソーシアム会員に限定 会費無料
XMLコンソーシアムからの 受入金	523,904	523,904	0	解約利息等を含む
シンポジウム参加費	30,000	42,000	△12,000	非会員の参加費収入
雑収入	0	35	△35	利息
収入の部合計	553,904	565,939	△12,035	
2. 支出の部				
コミュニティ活動費	400,000	91,580	308,420	シンポジウム開催費 ドメイン名登録料 レンタルサーバー費 5万
通信費	8,000	910	7,090	郵送料等
雑費	110,000	110,094	△94	XMLコンソーシアム 会計帳簿等保管倉庫代 (7年間分)および廃棄手数料 XMLコンソーシアム資産譲渡に 伴う運送費、文房具代
予備費	35,904	0	35,904	
支出の部合計	553,904	202,584	351,320	
次期繰越収支差額			363,355	

貸借対照表

2010年9月1日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
【資産の部】			
現金預金	363,355		
流動資産合計		363,355	
資産合計			363,355
【負債の部】			
前受金	0		
流動負債合計		0	
負債合計			0
【正味財産の部】			
正味財産			363,355
(うち当期正味財産減少額)			(160,549)
負債及び正味財産合計			363,355

財産目録

2010年9月1日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
【資産の部】			
現金預金	363,355		
普通預金	363,355		
横浜銀行	363,355		
流動資産合計		363,355	
資産合計			363,355
【負債の部】			
流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			363,355

監査報告書

2010年9月2日

XML コンソーシアム コミュニティ
代表 鶴保 征城 殿

監事

ピー・シー・エー株式会社

水谷 学



私監事は、XML コンソーシアム コミュニティ会員規約第29条に基づき、本会の会期と定めた 2010年3月26日から2010年9月30日における会計および業務について監査を行い、次のように報告します。

記

1. 監査の方法と概要

- (1) 会計監査のため、帳簿ならびに関係書類の閲覧をし、貸借対照表、収支計算書、財産目録について検討し、必要と思われる監査手続きを用いて調査した。
- (2) 業務監査のため関係書類の閲覧をし、業務執行について検討し、必要と思われる監査手続きを用いて調査した。

2. 監査意見

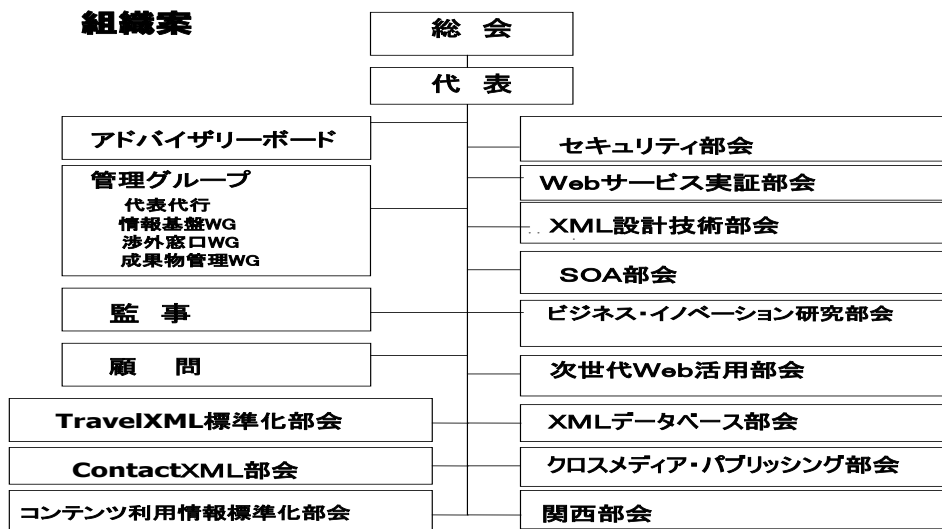
- (1) 貸借対照表、収支計算書、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法令および規約に従って、XML コンソーシアム コミュニティの財産および収支を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容および業務執行に関して、不正行為または法令もしくは規約に違反する事実はないことを認める。

以上

4. コミュニティ活動の終了に伴って

- ・「XML コンソーシアム コミュニティ」の活動終了ならびに「先端 IT 活用推進コンソーシアム」の設立に伴い、3月26日以降、コミュニティで管理してきたXMLコンソーシアムの成果物(各種発表資料を含む)および資産は、先端IT活用推進コンソーシアムに一括譲渡し、その管理下に置くこととする。(参照: 2010年6月14日発行「先端IT活用推進コンソーシアム」のご案内)
- ・成果物の譲渡に伴い、2010年9月8日付けにて「著作権譲渡契約書」を締結する。(添付参照)
- ・XMLコンソーシアムの成果物(XMLガイドブック、各種発表資料を含む)は、10月1日をもって、ベイスック認証を外し、一般公開とする。
- ・コミュニティおよびXMLコンソーシアムのサイトは、先端IT活用推進コンソーシアム設立後も参照できるようにする。
- ・SNS基盤については引き続き使用可能であるが、2011年3月末日をもって撤収する。

参考1: SNSグループ構成



参考2: 関連の会員規約

(剰余金の処分)

第30条 本会の収支決算に剰余が生じた場合は、代表の決裁を得て、その全部を本会の後継団体あるいは類似の目的を持つ他の団体に譲渡できるものとする。

(剰余資産の処分)

第34条 本会活動終了の場合、剰余資産は総会決議により、本会の後継団体あるいは本会と類似の目的を持つ他の団体に譲渡できるものとする。

添付:

著作権譲渡契約書

XML コンソーシアム コミュニティ(以下「甲」という)と先端 IT 活用推進コンソーシアム(以下「乙」という)とは別紙目録1記載の著作物(以下「本著作物」という)の著作権譲渡に関し、次のとおり契約を締結する。

第1条(著作権の譲渡)

甲は乙に対し、本著作物に関する全ての著作権(著作権法第27条、同第28条に定める権利を含む)を別紙目録3記載の移管日時に譲渡する。

第2条(著作者人権)

甲は、本著作物について、乙並びに乙より正当に権利を取得した第三者及び当該第三者から権利を継承した者に対し、著作者人格権(著作権法第18条乃至第20条の権利をいう)を行使しない。

第3条(保証)

甲は乙に対し、本著作物を現状のまま譲渡するものとし、明示、黙示を問わず、本著作物に瑕疵がないこと、本著作物が第三者の著作権、肖像権その他いかなる権利も侵害するものでないこと、特定の目的に適合していること(但しこれらに限定されない)等その他一切の保証をしない。また、合法的なものであることも保証しない。

第4条(本著作物の納入)

1. 甲は乙に対し、本著作物を別紙目録2記載の方法により、別紙目録3記載の日時までに移管する。
2. 前項の規定により乙に移管された本著作物の収録媒体(以下「収録媒体」という)の所有権および危険負担は、移管時に乙に移転するものとする。

第5条(対価)

本著作物の著作権の譲渡、その他本契約に基づく一切の対価は、無償とする。

第6条(損害賠償)

甲は、本著作物に起因し、又は本契約の履行に関し乙に生じた一切の損害について、賠償の責を負わないものとする。

第7条(協議)

本契約に定めのない事項、または本契約について甲乙解釈を異にした事項については双方誠意をもって友好的に協議の上解決する。

第8条(管轄)

甲及び乙は、本契約について訴訟の必要が生じた場合には、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とすることに合意する。

本契約締結の証として、本書を2通作成し、両者署名または記名捺印の上各自1通を保持する。

平成22年 9月 8日

甲 XML コンソーシアム コミュニティ
代表 鶴 保 征 城 印

乙 先端 IT 活用推進コンソーシアム
会長 XXXXXXXXXXXX 印

(付録)目録

- 1 著作物 XML コンソーシアムおよび XML コンソーシアム コミュニティにて作成されたホームページ
および各種 SNS グループ等
XML コンソーシアムおよび XML コンソーシアム コミュニティにて作成された各種ドキュメント
およびデータ等
- 2 移管方法 甲および甲に移管された XML コンソーシアムの Web サイトおよび SNS 情報基盤を乙に移管
上記移行に伴い、甲の活動終了および乙への著作物譲渡等、甲と乙は Web サイト上に必要な
掲載事項ならびに SNS 情報基盤の変更点を協議し、移管日時までにこれを甲が準備するものとする
- 3 移管日時 平成22年 10月 1日

以上